



▲ミュージアムロード完成記念式典で
播磨南高等学校の生徒さんたち

今年は本格的な春の訪れが例年より遅く、4月に入ってもなかなかコートや暖房器具が手放せない春先でした。ようやく訪れた短い春を楽しみましょう。

◆播磨町の土山駅から大中遺跡を結ぶ「であいの道」は、以前、別府鉄道が走っていた線路敷でした。別府鉄道の廃止後、町が緑道として整備し「百花園」という名のごとく四季の花々が咲き乱れる町民の憩いの場として親しまれてきました。考古博物館へのアクセスや、通勤・通学・散歩にと大勢の方々が日々利用されています。この「であいの道」が県事業で装いも新たに生まれ変わりました。「歴史とのであい～ミュージアムロード」の実行委員会には、町も参加して計画を進めてきましたが、3月24日に完成式を行いました。土山駅の南側のガラス面には「であいの道」の鳥瞰図が描かれ、案内板も新たに設置されました。大中遺跡へと続く道には、時代を現代から古代へとさかのぼるマイルストーンやレールで作った6基のアーチなど、魅力いっぱいの道となりました。子どもたちにとっても歴史を体感できる学習の場にもなっています。暖かくなったら、ぜひご家族おそろいで歩いてみてくださいね。

◆播磨町の平成24年度の予算が決まりました。今年は町制施行50周年でもあり、町内に楽しい空間をとということから、12月にご寄付をいただいた方との合意のもと、それを原資として土山駅南の高木を冬季イルミネーションで装飾し、点灯式やイベントなど、駅利用者や子どもたち、住民の方々に喜んでいただける企画をと考えていましたが、議員よりそれを削除する修正案が提出され、予算から削除されました。まちづくりには夢やロマン、輝く空間も必要です。議員の理解が得られず、寄付者の意に添えない結果になったことは大変残念であり申し訳なく思います。

播磨町長 清水ひろ子

ハッピーイースター

播磨町国際交流協会 ☎079(435)0356



播磨町国際交流協会では、外国人の方々と
の交流会や異文化紹介イベントを開催して
います。

イースターもその1つ。春の訪れを祝う西
洋のお祭りを開催しました。

当日は、4才～小学2年生までの子ども
たちが中央公民館に集合。外国人の先生たち
と、生命の誕生や春を表す英単語のゲームや
クラフト、スプーンレース、ジャンプレース、
エッグハント(卵探し)で遊びました。

協会では、年間を通じて、子どもから大人
まで参加していただける様々なイベントの
開催やボランティア
活動を行っています。
皆さまのご参加お待
ちしています。



笑い声いっぱいのイースターでした

町制施行50周年の記念式典が
4月15日に執り行われました。
詳しい様子は、次月号でお伝え
します。

また、4月に入ってから、50
周年記念スタンプラリーがスタ
ートしています。皆さんはもう
台紙を手に入れましたか? 郷
土資料館や、中央公民館、コミ
センなど町内15の対象施設や、
対象イベント会場でお渡しして
います。

4月29日の播磨町健康福祉フ
ェアで1つ、緑化フェアで1つ
対象事業のスタンプを押すこと
から、あなたも参加してみま
せんか?
(宮)

楽屋裏

トピックス

まちのわだい

播磨町ふるさと賞 にしやまたつや 西山達也さん(上野添)

企画グループ ☎079(435)0356



ふるさと賞を授賞された西山さん

西山達也さんの播磨町ふるさと賞贈呈式が行われました。

播磨町ふるさと賞は、文化、スポーツの分野でめざましい活躍をし、町民
に希望と活力を与え、ふるさと播磨の名を広く知らしめた個人または団体
に対し、その栄誉をたたえ贈るもので、平成8年に創設し、西山さんで19
人目です。

西山達也さんは、昨年10月に開催された第66回国民体育大会ボウリン
グ競技成年男子団体(2人チーム)で第3位の成績を収められました。

西山さんは3歳からボウリングを始め、プロの指導を受けて力を伸ば
し、今回の成績につながりました。

試合を振り返って「試合に集中ができ、いい緊張感の中で戦って結果を
残せてよかった」とお話しされました。

「将来は、トーナメントの数やパフォーマンスでも日本を上回る米国で
プロ選手になり、ボウリングを見ている人を楽しませたい。みんなが歓声
をあげていると嬉しいし、自分も楽しいから」と、目を輝かせて心境を語
ってくれました。

西山さんには、お祝い金と記念の盾が贈られました。

大中遺跡で春一番の色を染めました!

播磨町郷土資料館 ☎079(435)5000

3月25日の日曜日、
郷土資料館で絹の手
織りのショールに春
の色を染める親子文
化財教室が開かれま
した。

この日のテーマは、
「いにしえに心を遊ば
せ、おおらかに自然
の色をいただいて染め
よう」でした。みんな
で大中遺跡を散策し
ながら染めたい材料
を採り、資料館に
戻ったときには和気
あいあいとしていま
した。

講師の前田初代先生によると、うまく染めようとする
とよい色に染まらず、無心になって染液に絹をひたして
心穏やかに待っているときれいに染まるとのことです。



であいの道で染めたショールを干す



染液にひたす



材料採取



1歳

やまぐち きつべい
山口 稀平くん(西野添)

元気にすくすく育ってね

(パパ・ママより)